



教育目標 新しい時代を担う豊かな心と知性を身につけた実践力のある生徒の育成

知性：自ら学び考える生徒 **友愛**：心豊かな生徒 **健康**：健康で実践力のある生徒

厳粛かつ感動的な 第15回卒業証書授与式

3月11日(金)10時より、須賀川市中央体育館において令和3年度第75回卒業証書授与式を行いました。今年も福島県沖地震の影響で中央体育館をお借りし、さらには感染対策のため1年生は教室でのリモート参加となりました。朝、一度学校に登校した卒業生が中央体育館に移動する際、1年生が今までの感謝の気持ちを込めて拍手で見送りました。

式では、まず校長から一人一人に卒業証書が授与いたしました。担任の呼名に対して大きな返事で、胸を張って受け取る姿は実に立派でした。また校長式辞では、「コロナ禍や地震による体育館は使えない困難をみんなで協力しあって乗り越えてきた力を、自分の将来の夢や希望に近づくために発揮してほしい。『夢は見るもの 叶うもの 人の3倍励むもの』を思い出してほしい」とはなむけの言葉を述べさせていただきました。その後、在校生代表の送辞を●●●さんが、卒業生代表の答辞を●●●●さんが行いましたが、二人とも自分の想いをしっかり伝える感動的な送辞・答辞でした。式歌では、涙をこらえながら「旅立ちの日に」を歌った卒業生の姿が印象的でした。

このように、今年の卒業式は、体育館が使えない困難を乗り越えて、厳粛な中にも感動的な卒業式となりました。卒業された81名の皆さんの今後の活躍を期待しております。



1年生に見送られて会場へ



本校伝統の校旗先導



卒業生入場



一人一人に卒業証書を授与



校長式辞



記念品を受ける●●●●さん



●●●●さんの送辞



●●●●さんの答辞



答辞でのBGMを伴奏



涙を流す卒業生



「旅立ちの日に」を歌う男子



伴奏の●●●●さん



「旅立ちの日に」を歌う女子



卒業生退場



担任と一緒に記念撮影



2年生に見送られて

さあ「秀麗な一中生」の伝統を受継ぎ、2・3年生として頑張ろう

これまでこの第一中学校をリードしてきた3年生が卒業してしまい、少し寂しい感じがありますが、1・2年生がそれぞれ進級して、今度は中堅学年・最上級生としての役割を果たすこととなります。

ところで、今回の卒業式を行うにあたっては、1・2年生の在校生が分担をして、式場作成や3年生の教室の装飾を行ってくれました。在校生はこれまでに世話になった先輩方の卒業式を成功させようと、一生懸命準備をしていました。おかげで、今年も素晴らしい式場となりました。

式の準備の様子からも、だんだんと中堅学年・最上級生としての自覚が芽生えてきていることがわかります。

卒業式で在校生代表の坂本華さんが送辞で述べていましたが、これまで、先輩方が築いてきた第一中学校の伝統をしっかり受け継いで、さらに一中を素晴らしい学校に発展させてほしいと思います。



式場を作成する在校生

先輩方よろしくお願ひします 同窓会入会式

3月7日(月)4校時、中央体育館において同窓会入会式を行いました。お忙しい中、同窓会長の●●●●様にお越しいただき、お祝いの言葉や励ましの言葉を頂きました。その後、新入会員を代表して●●●●さんが「誓いの言葉」を述べ、●●●●さんが記念品を受け取りました。

須賀川一中の卒業生には、東京オリンピック銅メダリストの円谷幸吉さんをはじめ、各界で活躍している大先輩がたくさんいらっしゃいますが、3年生の皆さんは、須賀川一中の卒業生としての自覚を深め、社会で活躍している先輩方のような人間になりたいと意識を高めたようでした。

今回、3年生81名が入会し、同窓会員数は14,249名になりました。



誓いの言葉 ●●●●さん

記念品を受取る●●●●さん

「夢は見るもの 叶うもの 人の3倍励むもの」3年生への校長講話

卒業を間近に控えた3月8日(火)に、校長による授業を3年の各学級で行いました。題して「第一中学校を巣立っていく君たちへ」という校長講話です。

まず、コロナ禍や体育館が使えないことでいろいろと苦労があった3年生の労をねぎらうとともに、最上級生として第一中学校をリードしてくれたことへの感謝の気持ちを伝えさせていただきました。

また、校長の小学校時代から教師になるまでの話をしながら、いつも話をしていた「夢は見るもの 叶うもの 人の3倍励むもの」の具体的な話をさせていただきました。

3年生の皆さんは真剣に話を聞いてくれましたが、校長になると教室で授業を行うことは少なくなり、久しぶりに教室で子どもたちに語りかけることができ、楽しいひと時を過ごすことができました。

これからも機会を見つけては、校長による授業を行っていきたいと思います。



3年生への校長講話

一中生の活躍

- 岩瀬支部中学校冬季バレーボール大会 「第3位」バレーボール部
- 県書きぞめ展 「書きぞめ奨励賞」 ●●●●
- ユネスコ世界平和作文コンクール 「優秀賞」 ●●●● 「優良賞」 ●●●● ●●●●
- 県下音楽祭創作県大会 「奨励賞」 ●●●● ●●●● ●●●●
- 県中体連表彰 「優秀選手賞」 ●●●●

3月11日(金)は東日本大震災が発生した日です。11年前も中学校の卒業式が行われ、卒業生を送り、昼食を食べて一段落していた14:46、未曾有の大地震が発生し対応に苦慮した当時の記憶が思い出されました。その後も余震が相次ぎ、原発事故も発生して混乱する中、私たちはがんばってきました。教職員はいかに学校を再開するか、教育活動をどうするかを考えていました。保護者の方々も小さなわが子の安全や将来を案じながら行動していました。11年が経過し、コロナ禍ですが何気ない日常の生活がいかに尊いか改めて実感しています。今の中学生は当時2歳~4歳で、あの時の記憶がない生徒がほとんどです。防災に対する意識を高めるためにも、ご家庭でも11年前のことを話し合ってみませんか？